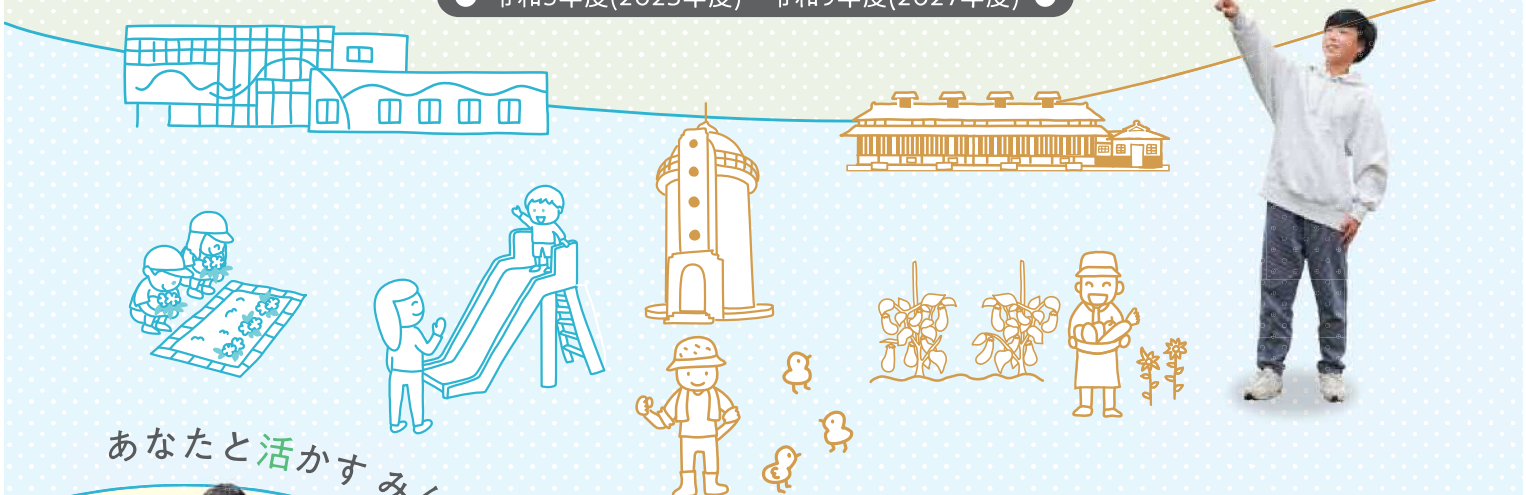
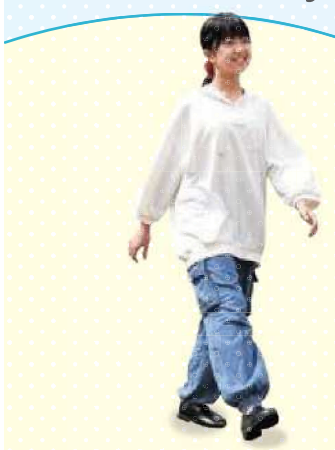


# 本庄市 総合振興計画 後期基本計画

● 令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度) ●



あなたと活かす みんなで育む 歴史と教育のまち 本庄 ～世のため、後のため～

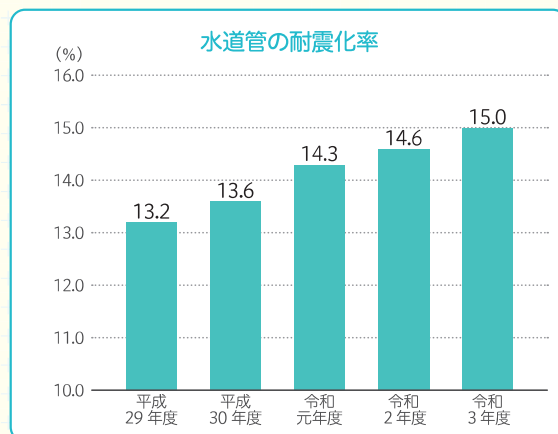
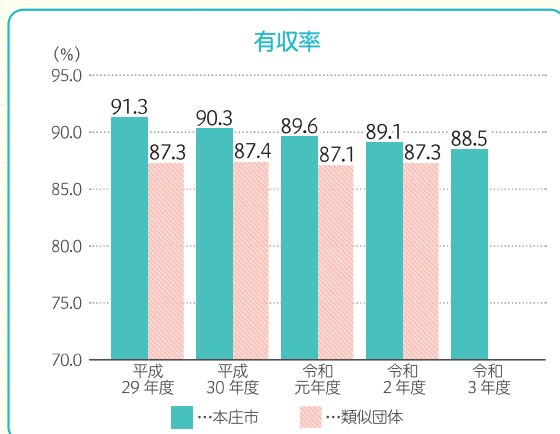


## めざす姿

- 良質で安全な水道水の供給により、市民が安心して水道水を使用しています。
- 効率的で健全な事業経営により、水道水が安定的に供給され、市民が安心して水道水を使用しています。
- 地震や浸水被害等の災害に強い施設の整備が図られ、災害時でも安定的な水道水の供給が継続されています。

成果指標	現状値	目標値
<b>有収率</b> [どれだけ漏水が少なく無駄がないかを表す比率 (水道料金に換算された水量÷供給した配水量)]	88.5% ▶▶	93.0%
<b>水道管の耐震化率</b> [耐震性能に優れた水道管が どれだけ布設されているかを表す比率]	15.0% ▶▶	18.0%

## 数値で見る状況



出典：経営比較分析表(本庄市)

## 現況と課題

施策に係る市民満足度 水道の整備が進んでいる ..... 64.4%

- 本市の上水道の普及率はほぼ100%となっていますが、水道施設の老朽化対策が課題となっており、漏水や老朽管更新に伴う濁り水の解消作業等で生じる無収水量\*が多いため、有収率の低下にも影響しています。また、水道施設の更新にあたっては将来需要を的確に把握し、アセットマネジメント\*の活用などにより計画的に進めていく必要があります。
- 近年は、「安全でおいしい水」へのニーズなど水道の水質への関心が高まっており、今後も安全で安心な水道水を安定的に供給していくため、引き続き水質管理の徹底が求められています。
- 上水道は、市民生活や都市活動に欠かすことのできないライフラインの一つであり、今後も安全で安心な水道水を安定的に供給していくため、災害に強い水道管や浄水場等の施設の整備を引き続き進めていく必要があります。
- 今後、人口減少に伴う水道事業収益の減少や、施設の更新に多額の費用が必要になってくることも見込まれています。将来にわたって持続可能な水道事業を運営していくために、健全で安定した経営を継続させていくことが課題となっています。



## 取組内容（施策中項目）

### 1. 安全な水道水の供給

- 安全で安心して飲むことができる水道水を供給するため、平成30年度に策定した水安全計画を基に取水から浄水処理、配水に至るまでの水質管理を適正に行います。

### 2. 水道施設の整備

- 水道水を安定的に供給するため、取水から浄水処理、配水に至るまでの水道施設の点検や維持管理を行うとともに、効率的な更新等に努めます。
- 運転監視システムの自動化や施設点検管理システムの導入など、ICT※の活用により、施設の維持管理の効率化を推進します。
- 災害等に強い水道施設の構築に努めます。

### 3. 健全な水道経営

- 健全で将来にわたり持続可能な水道事業を運営するため、業務の効率化、合理化を推進するとともに、水道料金収入の確保に努め、安定した経営基盤の構築に努めます。



▲ 第二浄水場 ポンプ設備



▲ 水道管の更新工事